技術情報　春先の天候不順と水稲への影響

春先の低温・日照不足などの天候不順は、水稲の生育にも影響を与えています。

４月中旬頃など、早期に田植えを行ったほ場などでは、活着不良や、それに伴う葉枯れ症状が発生するなど、生育が大きく遅れました。

その後、天候が回復し、活着した株では分けつも始まりましたが、依然生育は遅れ気味です。
ほ場をよく観察し、各生育ステージに応じた適切な管理をお願いします。

また、水温も低く推移してきたため、一発肥料を施用したほ場では、思わぬ時期に窒素成分の溶出が起こり、倒伏のおそれがあります。このようなほ場では、ＰＫ化成の追肥や中干しを確実に行い、倒伏を防ぎましょう。

葉枯れ症状が発生した稲苗

２０１０年 気象データ　（気象庁 気象統計情報，観測所名：徳島）

	平均気温(℃)			日照時間(時間)			降水量(mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)
４月中旬	13.2	14.6	−1.4	36.0	62.7	57.4	101.0	39.4	256.3
４月下旬	14.0	16.4	−2.4	70.7	65.2	108.4	82.5	37.5	220.0
５月上旬	18.6	17.7	0.9	76.4	63.0	121.3	26.0	39.7	65.5
５月中旬	18.2	18.7	−0.5	58.1	60.9	95.4	34.5	58.0	59.5
５月下旬	19.2	20.0	−0.8	62.8	73.5	85.4	56.5	41.1	137.5

（ブランド推進担当　秋月）

編集・発行
徳島農業支援センター
（東部農林水産局　農業支援第一担当）
〒770-0855　徳島市新蔵町1丁目67番地
tel：088-626-8771
fax：088-626-8739

地域情報　平成22年度『アグリクラブ徳島』通常総会が開催されました

平成２２年５月１４日に、徳島農業支援センター管内の青年農業者が組織するアグリクラブ徳島において、平成２２年度通常総会が開催されました。

平成２１年度は、月一回のイベントを実施し、恒例行事となった「県内外視察」、「徳島市農林水産展」や野菜ソムリエとの共催である「野菜の日イベント」等に加え、新しい取組として、中四国農政局幹部との意見交換である「一日農政局 in 徳島」や食育研修としての「米粉の料理体験」等を行いました。

今後もクラブの目的である「仲間づくり」、「生産技術、経営能力の向上」及び「農業、農産物に関する情報発信」の実践に向け、クラブ員の積極的な提案はもちろん、徳島農業支援センターとしてもアグリクラブ徳島を積極的にサポートしていきます。

また、アグリクラブ徳島は随時クラブ員を募集していますので、農家の方でクラブ活動にご興味のある方は徳島農業支援センターまでご一報ください。

イベントではアグリレンジャーに変身

総会の開催状況

（地域支援第二担当　藤崎）

技術情報　平成22年産すだちの着花状況について

昨年の大豊作の影響を受けて、本年産すだちの開花期は遅く、着花量は少ない傾向です。

着花の状況は直花が多く、小さい花や奇形花など弱い花が目立つため、今後の気象条件によって生理落果が多い場合は、かなりの不作も懸念されます。

生理落果防止と秀品率の向上に向けて、幼果にかぶさる新梢群や、樹冠内部の混み合った枝を間引くなど、果実への受光状態を改善するとともに、時機を失しない防除・施肥管理等の励行により、すだちの高品質・安定生産に努めましょう。

花（幼果）にかぶさる新梢の発生状況と奇形花

（ブランド推進担当　三木）

お知らせ　農業や食の大切さを情報発信!　6月は食育月間です

みんなで囲む楽しい食卓

　　食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てることと言われています。県では平成１９年に、食育育推進計画を策定し、「健（すこ）やか・だんらん・地産地消（ちさんちしょう）」をキャッチフレーズに、「**徳島す・だ・ち大作戦**」を展開しています。
　農業・農家生活体験や消費者との交流により農業や食の大切さを伝えたり、地域農業に親しむ場となる直売所の地産地消活動などの活動も、推進計画の一つの柱です。
　６月は食育月間です。地域農業を伝えることは自給率の向上にもつながります。家庭や地域で、農業者の経験を生かした食育活動についてぜひ前向きにお取り組みください。

活動事例の紹介

さあ！いよいよ田植えの始まりです。
青年農業者の話を熱心に聞いている児童達
多家良村後継者クラブの学童農園

女性農業者の知恵と思いが詰まっています。
食育現場で大活躍「とくしま農と食クイズ」
徳島女性農業経営者ﾈｯﾄﾜｰｸＹｏｕ・Ｍｅネット作成

（地域振興第一担当　黒嶋）

地域情報　第16回全国洋らん生産者大会　徳島大会が開催されます

　平成２２年６月９日から１０日にかけて全国から約２００名を招き、第１６回全国洋らん生産者大会 徳島大会が開催されます。
　９日は、市場・花屋との座談会を通じたマーケティング力の向上対策、難防除害虫防除対策など、各部門別に分かれて分科会が行われ、翌１０日は、シンビジウム鉢物やシンビジウム切り花、コチョウランといった各コースに分かれて現地視察が行われます。
　本大会が盛況開催されることを願って、実行委員会を中心に各生産者団体をはじめ、各関係機関が連携し、一丸となって取り組んでいます。

受け入れ態勢検討の状況

（地域支援第三担当　大和）

お知らせ

動力草刈り機は安全に使用してください！

雑草の生育が旺盛な今の季節、草刈り機は大活躍ですが、昨年本県で発生した農作業事故を見ると、実に１割強は草刈り機がらみとなっています。

草刈り機はありふれた機械ですが、使用にあたっては次の事項に注意し、安全な使用を心がけてください。

□ **初めて使う機械は、取扱説明書に目をとおしておく。**

□ **使用前に機械を点検する。**

・刃や保護カバーの取り付けは確実ですか？

・肩掛けベルトや取り付け金具に異常はないですか？

・シャフトに異常はないですか？

・燃料もれはないですか？

□ **草刈り機を持ち運びするときは、回転鋸刃にはカバーをつける。**

□ **使用する場所を事前にチェックし、作業上注意すべき箇所は知っておく。**

・石、瓶、ポリ袋等作業に支障をきたすものは、あらかじめ取り除きましょう。

・草が大きく障害物の見通しが困難な場合は、３０～４０cmの高さで一度刈り取り、障害物がないことを確認してから残りの部分を刈り取りましょう。

□ **服装は適切である。**

・だぶつきはなく、袖口等がしぼられているなど、障害物等への引っかかりや回転部分への巻き込みの可能性が少ない衣服を着用しましょう。

□ **ヘルメットや保護メガネ、スネあて等の保護具を装着する。**

・作業が長時間になる場合は、防振手袋や耳栓を活用しましょう。

□ **足場の悪い場所や無理な姿勢で使わない。**

・刃の高さはひざより下で、作業者から向かって左側に刈り取るようにしましょう。

※右側に刈り払うと、刃の跳ね返りによる事故の危険性が増すため、往復刈りはやめましょう。

□ **振動等異常を感じたらエンジンを止めて点検。**

・刃に巻き付いた草を除去する等で刃に近づくときはエンジンを止めましょう。

□ **作業者が複数の場合、互いに１５ｍ以上離れる。**

・ナイロンコードのカッターは作業場所によっては飛散物が多くなったり、飛散距離も長くなることに注意しましょう。

・エンジン回転中は音声は伝わりにくいため、作業者に近づくときは、正面にまわり、視認されてから合図して近づくとともに、作業者は人が近づいてきたら、エンジンを止めましょう。

（地域振興第一担当　山田）

※情報に関するお問い合わせは、徳島農業支援センターまでお願いします。